

来年度の取組

—H28年度予算要求—

「境港流通プラットフォームによる日本海側国内RORO船定期航路化推進事業」

○事業費:38.4百万円

○目的:境港流通プラットフォームにより中海・宍道湖・大山圏域を中心とした産業競争力を強化するため、国内海上輸送網のミッシングリンク解消による物流コストの低減、リードタイムの縮減などを最優先課題として、日本海側国内RORO船定期航路化推進に取り組む。

○事業概要

国内RORO船試験輸送

国内RORO船最適航路検証等委託

■試験輸送

<目的>

- ・国内海上輸送網のミッシングリンク解消に向け、北海道方面航路、九州方面航路、国内航路と国際航路の連結など、複数の船社の協力を得ながら、定期化に向け、最適な航路を決定するための実証を行う。

<内容>

- ・境港—九州【RORO船】
- ・境港—北海道【RORO船】
- ・H28上記航路検討に併せ、国内RORO船と国際貨客船の荷を境港で連結する実験を予定。

■輸送車両確保

<目的>

- ・試験輸送に必要な輸送車両(ヘッド・シャーシ)を確保し、境港から荷主間の陸上輸送体制を確保する。

■最適航路検証

<目的>

- ・日本海側を経由すると考えられる物流を把握し貨物量の増大を図る。

<内容>

- ・今年度、国土交通省が実施している物流基礎調査結果を基に、新たに判明した課題解決のための調査を行い、試験輸送の資料として活用する。
- ・試験輸送の結果を検証し、課題抽出、来年度方策案を提案。

■情報提供、PR

<内容>

- ・商工会議所と連携した試験輸送の情報など境港流通プラットフォームの取組の国内企業への提供資料作成。
- ・両県の輸出担当部署と連携した海外への市場調査の際の資料作成。